

北ア北部のおおらかで雄大な山並みの稜線を歩こう

雪倉岳～朝日岳

実施日 2019年8月25日(日)～27日(火)

天候 晴れ

リーダー 峯川 弘子

参加者 白石恵美子・石附智子・宇野輝代・峯川弘子 計4名

費用 JR新幹線往復12,712円(JP倶楽部・東京駅起算) 2,000円 ロープウェイ&ゴンドラ1,670円 3,300円/人 宿泊21,100円/1人 入浴800円

合計 41,582円

タイム 8/25 栂池高原(12:10)天狗原(14:10)乗鞍岳(15:40)白馬大池山荘(16:20) 泊

8/26 白馬大池山荘(4:20)小蓮華山(6:17)三国境(7:12)雪倉岳避難小屋(8:57)雪倉岳(9:42)水平道分岐(12:45)朝日小屋(14:26) 泊

8/27 朝日小屋(5:30)朝日岳(6:40)吹上のコル(7:20)白高地沢(11:30)兵馬の平(13:18)蓮華温泉ロッジ(14:20)

8 / 2 5 東京駅、大宮駅からはくたかで合流し長野駅へ、アルピコバスに乗り換え、白馬八方を経



由し小一時間で栂池高原へ到着。五竜、鹿島槍方面は黒い雲に覆われているが白馬は青空だ。ビジターセンターで昼食を



とりスタート、木道の緩やかな道を歩き花を眺めながら天狗原、道はここからぐっと傾斜が増し雪渓を歩き乗鞍岳へ、下山にかかると急に雲がどんどん移動してきた、前方に大池があらわれ山荘が見えたころポツポツ雨が降って来た、寒さを感じるので大事をとって早めにレインウェアとザックカバー



を装着、山荘は見えてもまだ1時間以上歩く、夏用の手袋で手先も冷たい、やはりこの山塊はあなどれないところ

感じた。大池の周りは岩ごろごろの道、歩行を早めたいが濡れてすべりそうなのでゆっくり進む、16:20ようやく山荘に到着、大勢の登山客がすでに盛り上がっている。



夕飯までの間また日差しが出た、山荘前のテン場もにぎわっている。明日は朝日小屋の奥さんに言われた通り4時出発、お休みなさい。

8 / 2 6 早く寝ても3時起きはつらい、外へ出てみると隙間がないほどの満点の星、晴れそうだ！外気温は3度、ヘッドンでお弁当にもらった朝食をまだ目覚めない体にお湯で流し込む。登山でもつらいと思う瞬間だ。

今日は長丁場、4:20ヘッドンをつけてスタート、一步一步、目覚めない重い身体を持ち上げて、なんでこんなしんどいことやっとなん！一人つっこみしながら歩いているとようやく明るくなってきた、左を見ると幻想的な雲海、その向こうに今上がろうとしているオレンジの光、来たー、ライジン



グサン！皆で立  
ち止まりしばし  
見とれる。神々  
しい瞬間に人間  
なんてほんとに  
ちっぽけだとな

心も厳かになる。前方にはオレンジ色に染まった白馬三山、つらさもふっとぶ、明るくなると不思議と足が動く、これって人間の本能？

青空と後立山に元  
氣をもらい小蓮華  
山到着、そこから  
一旦下り、前に白  
馬岳がドンとせ  
まってきた、三国



境だ。どでかい白馬とこれから歩く雪倉岳の縦走路が姿を現す。空の青さと山の緑のコントラスト、テンションも上がる、さあ行こう、あの頂きへ！

そこからは絶景とさらにお花畑、つらいアップダウンを繰り返すが、尾根下には真っ青な魔女の瞳のようなカルデラ湖に感嘆の声をあげ



立ち休憩をし  
ながら雪倉岳  
避難小屋に到  
着、ここから  
あと50分、き  
つーい傾斜を  
登り上げやっ

たー、雪倉岳山頂わっしょーい！！

ここまで5時間20分、話に聞く北アルプス終焉の絶景縦走路、いくつものアップダウンを繰り返すまでに達成感でいっぱい、もう戻ろうか、いやいや戻るにもまたあのアップダウンがと冗談を言う。

寒さで下山して鞍部のツバメ平で腹ごしらえ。朝日小屋まではまだまだあと3時間45分、でも今日の行



程の半分以上は来た、もくもくと進む。ガレ場、赤岩を登り返しさらなるお花畑に癒されながら2時間、ようやく水平道分岐に到着した。朝日岳にはガスがかかって来た、明日の天気はよろしくない。今日のうちに朝日岳へ1時間30分登り返すか水平道から1時間45アップダウンを繰り返すか意見が分かれた。どちら時間も大変さは変わらない、が、雪倉岳のきつい傾斜でもう急登はトラウマ、アップダウンの方がまだいいということで水平道を選択。



水平道とは名ばかりで木道が途切れると歩きにくい、皆で頑張ろうと声かけながら沢におりてはまた登り返し気が抜けない、疲れてきた身体には今日ここからが一番堪えたかもしれない。

ようやく尾根道に上がり込むと前方上に朝日小屋が見えた、皆で歓喜の声をあげ、朝日岳の分岐から登り返し、出発からほぼ10時間かけて到着！お疲れー！と皆で抱き合った。



朝日小屋は6人部屋の個室に5人、トイレはウォッシュレット付きでとてもきれいな小屋でびっくり。

目の前には朝日岳、そこでさらなるご褒美が。ガスが出てきた中、富山県警のヘリ「つるぎ」が訓練で上がってくるという。小屋の客ほぼ全員で見守る中、短時間の滞在で上空に消えていった、富山県警の文字を見るだけでなんだかとてもかっこいい、感動！！

夕飯は全て手作りの富山の郷土料理、奥さんの「朝日はどこから登



って来ても長い行程です、ようこそいらっしやいました、かんぱーい！」の掛け声と食前酒で小屋客みんな盛り上がり楽しいひと時を過ごした。

8 / 27 朝5時、小屋の美味しい朝食を頂いて出発、超明るい奥さんの説明では五輪尾根は最後に標高差300mの登り返しがあるので体力を残すこと、昨日と同じくらい時間が掛かると思ってと。日差しの中息を切らして約1時間、朝日岳

の山頂に到着、天気にも恵まれ360°の眺望、剣岳から後立山連峰、振り返ると新瀉方面、火



打、妙高がくっきり、朝日岳の様がみんなよく来たな、さあご褒美だと言ってくれているかのよう。ずっとここにいたいけど、後ろ髪ひかれ隊は下山開始、急下降で吹上のコルに着く。そこで昨夜から一緒に盛り上がり母海新道の避難小屋でもう1泊して親不知へ下山する健脚中高年の女性4人と別れの挨拶をし、こぶし会は五輪尾根に向かう。

その女性達は地元の朝日町の方達で朝日から蓮華温泉までの花畑は白山よりも素晴らしいと言っていた。朝日からの下山道はザレ場、細尾根、クマザサの根っこ、渡渉



花畑にしばし見とれる。チングル

マ、ハクサンイチゲ、ヨツバシオガマ、カラトリソウ、マツムシソウ、シモツケソウ、なんとかキク、なんとかガンゾウ、えーっと、花の名前を覚えられないのでその他いっぱい、とにかく夏と秋の花が一斉に咲いているようだ。途中、大岩を下った沢に続く日陰で大休止で昼食。そこから幾分歩きやすい道になったがまだまだ蓮華温泉までの行程は長い。2、3回沢に降りては折り



返し、最後の姫負峠の標高差を登り返し、さらに登りの木道を歩いて蓮華の森自然歩道へ到着、時計は13:50、糸魚川駅へ向かうバスは来るまで約1時間かかるのでそこからUさんが予約の為にトレランのごとく走ってくれた。なんという体力、こぶし会の超人に一同敬礼m(\_\_)m

14:00ゴールの蓮華温泉ロッジへ到着、やったー！皆で温泉にザブ



ン、お風呂上がりおの生ビール、そして皆でロッジの前で記念写真をパチキり。声をかけてきた地元のおやじさんによると、この朝日岳は他の北アルプス山塊に比べ毎年花が遅めで夏

と秋の花が一度に見られるのだと、納得！！タフだったけど青空に恵まれて絶景の縦走路でした。

皆さま、ありがとうございました、そしてそして、本当にお疲れさまでしたー！！

(記&写真・峯川 弘子)